

# 「資源増大に」寄付

神奈川トヨタ商事

## 神奈川県栽培漁業協会に

【三崎】KTグループ グループとして5回

・神奈川トヨタ商事の黒田圭次郎社長はこのほど三浦市の神奈川県栽培漁業協会を訪れ、水産資源の増大に役立てるため、10万円と、同グループ・上野事業の上野健彦社長からの5万円を寄付した。

目。黒田社長が手渡すと、今井利為専務はお礼の言葉を述べたあと、マダイ種苗放流の効果と課題について解説した。放流後3年たったマダイを中心に漁業者が漁獲し遊漁者が釣り上げるが「再捕状況を調べると遊



漁者が釣り上げるマダイの40～50%は当協会の種苗放流魚で、漁業者の漁獲が多い。都市化された地域では栽培漁業が漁業や遊漁を支えている

ると、今井専務は「三重県や静岡県で漁獲されており、東京湾で放流したマダイは千葉県でかなりの数が再捕されている」と答えた。

黒田社長が今井専務に寄付

などと紹介した。

黒田社長が放流マダイが遠隔地で再捕された例を尋